

2022年

8月号

No.485



日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE
FREE ご自由
にお持ち帰り
ください

8月
11日～15日
診療日のお知らせ

(お盆期間中の診療は
通常診療です)

11日(木・祝) 休診  山の日

12日(金) 通常どおり

13日(土) 休診

14日(日) 休診

15日(月) 通常どおり



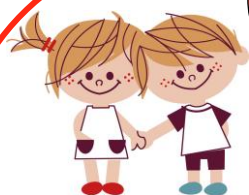
I N D E X

● こどものころ

● 「皆さまの声」

● 8・9月健康教室等のお知らせ

こ の こ ろ



小児科部医師

仲岡 佐智子 なかおか さちこ

新型コロナウイルス感染症の流行は大人だけでなく、子どもたちの生活にも大きな変化を及ぼしました。2020年春の全国での臨時休校や分散登校、学校行事の縮小や中止があり、普段の生活の中で新しい生活様式を強いられてきました。その中で、子どもたちの心の健康への影響が指摘されており、ストレス症状やうつ症状を抱えている子どもたちがいることや、摂食障害の子どもたちが増えていることが報告されています。

コロナ禍は多くの子どもたちに共通した環境の変化ですが、子ども一人一人の生活の中で、日々様々な変化が起きています。その変化は子どもを成長させるものになることもあれば、心や身体にストレスを与えるものになることもあります。また、子ども自身の個性や特性も様々なため、変化を受け止められる許容範囲も子どもごとに違います。

子どもは大人に比べるとストレスに対応する力が弱いため、葛藤を抱えやすく、その葛藤を言葉にする力も未熟とされている

ます。言葉で表すことができない分、SOSのサインを様々な形で表す場合があります。例えば、癇癪や暴力でイライラや不安を表したり、腹痛や頭痛といった身体の不調となって現れたり、登園・登校

しぶりがみられたりします。また、子ども自身の特性（発達障害）により、集団生活の中でトラブルや生活のしづらさを抱える場合もあります。



子どもたちの心に関わることや特性について相談できる「子どものころ外来」が6月から小児科で始まりました。この外来では、富山県リハビリテーション病院・子ども支援センターの小児神経科医と児童精神科医が隔週で診察を行います。

どのような症状や困りごとを相談できるか時期別にみていきましょう。(症状や困りごとは他の時期でみられることもあります。)

幼児期

就学前の時期は、お子さん自身の発達面や集団保育の中での困りごとから発達障害に関しての相談が出てくる時期です。

また、発達障害があるときに、小学校でお子さんが学ぶ上で適した環境について相談することもできます。

- 言葉が遅れている
- 夜泣きがひどく困っている
- 落ち着きの無さや指示の入りにくさがある
- 癇癢を起こすことが多く困っている
- やり方や置き場所などにこだわりがあり、変更しづらい
- 一人遊びを好む
- 音や触られることへの感覚過敏があり、激しく嫌がる
- 保育園や幼稚園で集団行動が難しいと言われる
- 特定の場面（保育園や幼稚園、学校など）で話することができなくなる



学童期

学童期は、学校生活の中での困りごとからお子さんの特性に気付く場合があります。

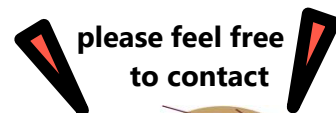
- 学校で授業中に席を立ってしまう
- 忘れ物やなくし物が多くて困っている
- 集中力がなく困っている
- 友達とのトラブルが多い、すぐに手が出てしまう
- 言葉の表現が独特で話が伝わりづらい
- 読み書きや計算など、特定の分野が極端に苦手困っている
- 登校しぶりがある、不登校傾向がある
- 家で暴れたり、暴力を奮ったりする



思春期以降

思春期には心の負担が身体の症状として出やすい時期です。摂食障害や精神疾患を発症するお子さんもいます。

- 腹痛や頭痛などの身体的な症状が繰り返しみられ、日常生活に支障がある
- 朝なかなか起きられず、午前中は体調がすぐれない
- 立ちくらみや倦怠感を感じる事が多い
- 食べる量が少なく急激に体重が減り、体重が増えることを極端に嫌がる
- 手が荒れるほどに手洗いを繰り返す
- 死にたいと言うことがある



お子さんの様子で気になることがあり相談をしてみたいけれども、子どものころ外來の受診を迷われる場合には、当院の小児科にぜひご相談ください。
お子さんやご両親が気軽に立ち寄れる場所になれたらと考えています。

子どものころ外來のご案内

診療日時：毎週水曜日 午後1時30分から午後5時（完全予約制）

担当医師：富山県リハビリテーション病院・こども支援センター医師

対象年齢：幼児から18歳まで

対象疾患：発達障害、不登校、睡眠障害、不安障害など

予約方法：地域の医療機関（小児科）等からの紹介により予約を受け付けます

QRコードを読み取ると
当院ホームページに
つながります ↓



皆さま の声

このコーナーでは、『皆さまの声』(ご意見箱)等にお寄せいただいたご意見・ご要望に対する当院の対応、お礼の投書についてお知らせします。
(令和4年3月1日～令和4年4月30日回収分より抜粋)

投書箱は正面玄関・やすらぎホール・各病棟に設置しております。

ご意見・ご要望

◆3ヶ月に1度血液検査をしてもらっています。通院して約3年になりますが、看護師さんはいつも親切、丁寧で頭が下がります。また、注射が痛かったことは一度もなく赤十字病院の看護師さんは上手な人がそろっているといつも感心しています。ところが、〇月〇日の注射は痛く、雑で機械的な看護師さんにあたってしまいました。痛いのは上手下手があるから構わないのですが、雑な対応にこれまでの赤十字病院のイメージがひっくりかえってしまいました。

「病院からの回答」

◇この度は、看護師の対応で大変ご不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありません。採血や注射を行う中央処置室では、常勤の看護師と応援の看護師が協力して業務にあたっています。中央処置室業務に不慣れな看護師が対応することもあります。患者さんに安全・安楽に採血や検査を受けていただけるよう真摯な姿勢で日々臨む必要があると思います。心無い機械的な対応であったことは、本当に申し訳ありませんでした。看護師一同でこのご意見を共有し、今後の診療に取り組んでいきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆〇〇病棟のスタッフ態度悪い！ちゃんと時間内に行っているのに8人居ても知らんぷり！〇〇に荷物を持ってきたと言ってもあからさまに嫌な顔!!担当者じゃなきゃどうでもいいのか！改善してください。

「病院からの回答」

◇ご来院された際の看護師の対応に不手際があり、ご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。スタッフステーションでの他職種とのカンファレンスなどの業務に集中し、周囲への気配りが欠けておりました。今回のご意見につきましては、病棟スタッフで共有しました。今後は来院された方に気を配り、誠実な対応を心がけるよう、努めていきたいと思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆診察前の待ち時間に駐車場の無料印の押印を依頼したところ、領収書を出して下さいとの事、いや診察前だけと…とまた、領収書を出して下さい。領収書が無いと押せないの？と聞いても返事は、領収書を出して下さい。質問に答えることもなく、ただ機械的に領収書を出して下さい。もう少しあたたかみのある対応は出来ないのでしょうか。

「病院からの回答」

◇この度は、駐車券取扱い窓口の対応について、ご不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございません。当院では、外来患者さんは4時間の無料認証を行っておりますが、待ち時間などで入庫から4時間を超える場合もあるため、駐車券の入庫時間を確認のうえ認証を行っております。そのため、外来患者さんには、お帰りの際に領収書や受付票など外来受診をされたことが分かる書類を提示いただき認証を行っておりますが、今回は説明が不十分であったと思われると思います。今後は、患者さんにご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。また、お帰りまでに一度お車を出されたい場合などは対応いたしますのでお声がけ下さい。

お礼の投書

〇先生はじめ看護師の皆さんにとっても親切にして頂きました。

〇5階東病棟の皆さん、とても親切で感謝しています。〇30年ぶりに入院しましたが、自分で体のコントロールできない時に車椅子で外来まで行き、そのエレベーターの中で優しい言葉をかけて頂きとても心強かったです。私に関わって頂いた看護師さんには、ただただ感謝しかありません。また、感動もしました。同じ病室の方々のケアには、とても心の行き届いたお世話でいつも聞いていて、すばらしい方々の集団だと思いました。誰一人いやなことも言わず、下の失敗にも「ぜんぜん大丈夫！大丈夫！みんなあることですよ」…。(それは、ナースとしてあたりまえの言葉かもしれない)けれど、声のトーンも高く、とても聞いていても感動しかありませんでした。この数日間、いつも温かい気持ちでいられたことに感謝し、看護師の皆様を尊敬し退院したいと思います。

＋ 理 念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全で高度な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子ども達が分かりやすく心のこもった医療を受ける権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

富山赤十字病院

〒930-0859 富山県富山市牛島本町2-1-58
TEL:076-433-2222

令和4年8月1日発行 発行責任者 高畑淳一
編集責任者 桑間直志

8月・9月健康教室等のお知らせ

患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)

名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	担当	申込窓口			
やすらぎの会	ミニレクチャー 放射線治療について (講師:放射線治療医師)	9月8日(木)	14:00～14:30	3階討議室	がん相談スタッフ	申込不要			
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間 中止							
クロスサロンとやま	がんピアサポーターが自らの体験を活かし、がん体験者やそのご家族と同じ立場で不安や悩みなどについて、安心して語り合う交流サロンです	8月17日(水)	13:30～15:30	3階講義室	がん相談スタッフ	申込不要			
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。									
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください) 検査の話 食事の話	8月9日(火)・23日(火) 9月13日(火)・27日(火)	14:00～16:00	3階討議室	理学療法士 検査技師 管理栄養士	外来通院の方は 内科外来 入院中の方は 病棟看護師			
	病気の話 薬の話 生活の注意点 (第2水曜日のみ「口腔衛生について」)	8月10日(水)・24日(水) 9月14日(水)・28日(水)			医師 薬剤師 看護師				
	昼食会	当面の間中止							
腎臓病教室 (要申込)	病気の話 食事の話 生活の注意点	8月18日(木) 9月15日(木)	14:00～15:00	3階討議室	医師 管理栄養士 看護師	主治医			
禁煙教室	ミニレクチャー タバコは全身病 (講師:医師)	8月19日(金)	15:00～15:30	健診センター	医師 保健師	申込不要			
	ミニレクチャー 「禁煙治療薬」ってどんなもの? (講師:薬剤師)	9月16日(金)							
安産教室 (要申込)	1コース 妊娠されたママへ～自分の身体と赤ちゃんをイメージしよう～	8月5日(金) 9月2日(金)	13:00～14:00	正面玄関 多目的室 8月26日(金)zoom開催	助産師 管理栄養士 歯科衛生士	産婦人科 外来			
	2コース 自分の食生活と向き合ってみよう妊娠中の身体と生活		14:30～15:30						
	3コース 赤ちゃんとおぼろしいお産	8月12日(金)・19日(金) 26日(金) 9月9日(金)・16日(金)	13:00～14:00						
	4コース みんなで学ぼう! 母乳育児!								
赤ちゃんのにこにこご飯 (要申込)	食育教室 病院ホームページの『診療科・部門のご案内』>『栄養課』>『栄養管理、栄養指導の提供、チーム医療への参加』をご覧ください。	当面の間中止							
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子のつどい 病院ホームページの『ご利用の皆さまへ』>『お産される方へ』>『【退院後】のびのびサークル』をご覧ください。 	8月24日(水) 9月28日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は 9:40～)	zoom開催	自助サークル	病院ホーム ページ			
赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	一次救命処置(心肺蘇生・AED) / 搬送および救護 / 急病の手当/けがの手当(止血法・包帯法・固定法)	基礎講習: 8月17日(水)・9月4日(日) 養成講習: 8月18日(木)・19(金)	9:00～16:30	日本赤十字社富山県支部	救急法 講習指導員	日本赤十字社 富山県支部 451-7878			